

## 2020年度事業計画書

認定特定非営利活動法人 産業人OBネット

### 1. 事業実施の基本方針

当法人は2006年（平成18年）に設立、2020年度は14年目を迎え個人会員（正会員と賛助会員）及びアドバイザーは123名、団体会員（特定会員と賛助会員）は56社・団体でのスタートとなる。

新年度はまず何よりも地球規模での新型コロナウイルスの感染拡大の動向に全世界が動揺する中で、世界経済の落ち込みが、リーマンショックを上回るとも言われており強く懸念されている。

その様な中で、当法人を取り巻く環境は、この数年来の米中貿易戦争が未だ続いているなか、東京オリンピック開催の1年延期、11月にはアメリカ大統領選挙もある大事な年だが、新型コロナウイルスの状況次第では、どの様な変化が起きるか予測のできない状況である。

一方国内経済においては、経済成長の鈍化に加え、少子高齢化の中でIoT、AI等の第4次産業革命推進等で生産性向上・経営力強化で乗り切るべく政府、企業挙げて対応しているが、ここでも新型コロナウイルスが経済に与える影響は雇用や中小企業経営に波及しており、先行き予断を許さない混迷の状況になってきている。

このような状況のもとにおいても、設立の原点である個別の中小企業支援活動については、マッチング支援活動の質及び量のより一層の充実を目指して、今年度はその一環として当法人が支援要請企業と直接受託契約を締結する方式に変更する。これにより支援要請企業のニーズを正確に把握し、高度な支援を行うことができることとなる。またより優れたアドバイザーに活躍してもらうことにより、支援企業の満足度を上げていく計画である。

一方、関係団体や県、市等の公的機関・団体等からのプロジェクト業務を含む活動案件についても「国際フロンティアメッセ2020」「中小製造業訪問事業」をはじめ、より活動の幅を広げ、質を上げることも重要である。

また、個人会員・アドバイザーの人数増大に伴いコミュニケーションを良くし、極力多くの会員・アドバイザーが支援活動や事業運営に参加できるように、研修会・勉強会の更なる推進及び団体会員を始め企業への各種フォーラム・プレゼン会など、研修・セミナー活動の一層の充実を図る必要がある。特にIoT、AI等の第4次産業革命の進捗に後れを取らないために、アドバイザーのレベルアップも大事な課題である。

情報発信の手段として、当法人のホームページの更新や「産業人OBネット便り」を活用して更なる情報発信を行うことも大切である。

さらにパンフレット、事例集の改訂やホームページ等を活用し、外部に当法人のPR、広報活動を強化していく。

以上の様な状況を踏まえて次の基本方針のもとに本年度の事業を推進することとする。

- (1) 関係支援機関・団体との連携を更に深める。
- (2) サポート部門では、個別企業との契約を当法人との直接契約に変更することに加え、また組織体制を強化し、個別企業の支援活動の質を高め満足度の向上を図る。さらに支援企業のニーズ案件の増加とナビの増強を目的とした支援体制の強化を図る。
- (3) プロジェクト案件の受託継続及びその業務の質の向上を図る。
- (4) 研修活動及びフォーラム・セミナーの充実を図るとともにパンフレット、事例集の改訂やホームページ等を活用し広報活動を強化・充実する。
- (5) 出前教育においては教育・研修への講師派遣や研修プログラムの新規作成等の活動の拡充を図り、兵庫県職業能力開発センター等の受注拡大を目指す。
- (6) 事務局の機能強化を図り、業務の効率化を推進するとともに、認定NPO法人格の5年目以降の継続手続き及び15周年記念行事の準備を遅滞なく進める。

## 2. 関連機関・団体及び地方自治体等との更なる連携の推進

### (1) 関連機関・団体

- ア. (一社) 関西産業活性協議会 (KIAC) が実施する事業への参画・協力  
KIAC が独自に企画している中小企業の「優れた技術・サポイン技術」を発掘し、外部技術を求める川下企業とのビジネスマッチング事業へ協力する。
- イ. (公財) ひょうご産業活性化センター事業  
・「成長期待企業・グローバルの会」との連携強化を図る。
- ウ. (公社) 兵庫工業会、兵庫県経営者協会との連携と事業への参画・協力  
・兵庫工業会の「兵庫ものづくり人材マッチング事業」や「課題解決支援事業」事業への参画  
・兵庫経営者協会の「高校生向け職業訓話」への講師派遣

(2) 地方自治体等

- ア. 兵庫県、神戸市、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)等主催の「国際フロンティア産業メッセ2020」のビジネスマッチング支援事業の継続実施
- イ. 兵庫県、ひょうご産業活性化センターの「IoT, AI 専門家派遣事業に関するものづくり企業発掘業務」の継続実施
- ウ. 神戸市との「中小製造業訪問・支援事業」の継続実施
- エ. 明石市との「中小企業経営安定化事業」の継続実施
- オ. ひろしま産業振興機構との「大都市圏営業支援事業」の継続実施

(3) その他

日新信用金庫の「にしん輝きメッセ」出展支援企画の推進

3. 個別企業の支援活動・ニーズ調査の強力な推進

(1) 個別企業との契約を当法人との直接契約に変更による取り組み

- ・個別企業の支援体制を、企業と当法人と直接契約する形態に変更することにより、支援内容の質の向上を図り企業の満足度を向上させる。さらに企業への請求、アドバイザーの支払いなどの会計処理の一元化を図る。
- ・そのためにナビゲーター体制の充実とアドバイザーの研修・教育の徹底を図る。  
ナビゲーターの機能向上のため、ナビゲーターメンバーの増強を行なう。

(2) ニーズ調査等の企業への働きかけ、発掘の強化

- ・サポート部の管理チーム、ナビチームの機能を活かし、ニーズ調査活動を積極的に展開し、質の高いニーズ調査案件を発掘する。具体的には、各展示会等に参加し出展企業からのニーズの掘起こし等をベテランと新入会員とのOJT活動により行う。また、過去の支援企業・団体会員企業をフォローすることでニーズの増加を図る。
- ・情報交換会でのプレゼン企業の発掘と強力な支援活動を行う。

4. プロジェクト案件の継続実施と受託業務の更なる拡大

昨年度受託したプロジェクト案件の確実な継続実施に加え、改訂したパンフレットや事例集を活用して、関連自治体や商工会議所等に当法人

のPR活動を行い、プロジェクト案件の開発・新規受託を積極的に行う。

#### 5. 出前教育活動・海外案件の積極的推進

- (1) 出前事業については、昨年度の実績を更に拡大、推進を図る。
  - ・昨年に引き続きSSH（スーパーサイエンススクール）への支援活動し、サイエンスアドバイザーとしてより密接な指導を継続する。
  - ・企業への研修・教育の講師派遣を強化する。そのためのプログラムの作成、講師陣の充実を図る。
  - ・兵庫県職業能力開発センターの講師派遣についても積極的に応募・受託獲得を目指す。
  - ・補助金申請セミナー等も開催し積極的に支援体制を充実する。
- (2) 海外案件はJICA及び個別企業の海外展開の支援を着実に進める。

#### 6. 研修・フォーラム・セミナー等の充実及び広報活動の活発化

- (1) 新入会員の基礎研修及び会員・アドバイザーのスキルアップ研修を実施する。さらに一般企業、団体会員、アドバイザー向けには各種フォーラム、プレゼン・交流会を実施する。
- (2) ホームページの更なる充実を図り、個人会員・団体会員や外部企業への情報発信を行う。
- (3) 団体会員向け機関紙「産業人OBネット便り」は年3回程度の発行を続けるが、その編集内容や配布対象を検討し、外部へのPR材料としての活用を図る。
- (4) OBネットの「パンフレット」と当法人のPRに役立つ「支援事例集」の改訂を行う。

#### 7. 情報の管理

- (1) 個人情報の管理を徹底する。
- (2) アドバイザーや団体会員の情報を一元管理し、個別企業の支援やプロジェクト案件の推進に必要な情報を更新し、検索しやすくし、適格で必要なアドバイザーの選定ができるようにする。

#### 8. 事務局組織の充実・強化と15年目の準備体制構築

- (1) 事務局業務の簡素化・効率化を目指し、事務員の増員で対応する。
- (2) 個別企業とOBネットの直接契約に伴う会計体制の整備を行なう。

(3) 認定NPO法人格の5年以降の継続手続き及び15周年記念行事の準備を遅滞なく進めるための準備体制を構築する。

以上